

安全データシート ~ Safety Data Sheet

G-Chelate Quick

1. 製品および会社情報

製品名 : G-Chelate NT (ジー・キレート エヌティー)
製品番号 : GCN-01
推奨用途 : G-Chelate Quick(酸性脱灰液)による脱灰処理後の中和処理
使用上の制限 : 上記の用途以外で使用しない

会社名 : ジェノスタッフ株式会社
住所 : 〒113-0032 東京都文京区弥生 2丁目 5-8 GSビル
電話番号 : 03-5615-8857
FAX 番号 : 03-5615-8858
電子メールアドレス : support@genostaff.com

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : GHS 分類区分に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示 : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : 該当しない

注意書き

【安全対策】 : 該当しない
【応急処置】 : 該当しない
【保管】 : 該当しない
【廃棄】 : 該当しない

3. 組成、成分情報

純物質または混合物の区別 : 混合物
別名 : 5%硫酸ナトリウム溶液

化学名	濃度	分子式	化審法官報 公示番号	安衛法官報 公示番号	CAS番号
硫酸ナトリウム	5%	Na ₂ SO ₄	(1)-501	公表	7757-82-6

分類に寄与する不純物または安定化添加物 : 該当なし

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する。
気分が悪いときは、医療処置を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 速やかに皮膚を多量の水と石鹸で洗浄する。
皮膚刺激が生じた場合や気分が悪いときは、医療処置を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間、注意深く洗う。
コンタクトレンズを容易に外せる場合は、外して洗う。
眼の刺激が持続する場合は、医療処置を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。
気分が悪いときは、医療処置を受けること。
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし。
- 火災時の特有の危険有害性 : 熱分解により刺激性で有毒なガスと蒸気は発生することがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器を移せない場合は、容器およびその周辺に散水して冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
状況に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 十分な換気を確保する。
作業者は適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項 : 製品の環境中への流出を避ける。
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
- 回収、中和 : 漏洩した液は布や紙などで拭き取り、その場所は水で十分に洗い流す。
- 二次災害の防止策 : 環境規則に従い、汚染された物および場所をよく洗浄する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
- 技術的対策 : 適切な保護具を着用する。
取り扱いは換気の良い場所で行う。
強酸化剤との接触を避ける。

- 安全取扱注意事項 : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
 容器を密閉しておく。
 十分な換気を確保する。
 液の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。
 ガス、ヒューム、蒸気、ミスト、スプレーを吸入しない。
 皮膚や眼との接触を避ける。
 作業域内では飲食及び喫煙をしない。
 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

- 保管条件 : 容器を密閉し、直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
 混触危険物質 : 強酸化剤
 容器包装材料 : 密閉容器

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない
 許容濃度 : 設定されていない
 設備対策 : 取り扱いについては、できるだけ発生源を密閉化するか、局所排気装置を使用する。
 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護措置

- 呼吸器用保護具 : 保護マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

- 色 : 無色
 濁度 : 透明
 性状 : 液体
 臭い : データなし
 pH : 中性
 融点・凝固点 : データなし
 沸点 : データなし
 引火点 : データなし
 発火点 : データなし
 燃焼性 : データなし
 燃焼又は爆発範囲 : データなし
 蒸発速度 : データなし
 蒸気圧 : データなし
 蒸気密度(空気=1) : データなし

比重(密度)	: データなし
溶解性	: 水及びエタノールに任意の割合で混和する。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の条件下では安定である。
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下ではなし。
避けるべき条件	: 高温、直射日光、混触危険物質との接触
混触禁止物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件下ではなし。 硫黄酸化物

11. 有害性情報

※ この製品及び構成成分の人の健康への影響に関するデータは不十分なため、最大の注意を払う必要がある。

急性毒性	経口	: この製品に関する試験データはなし。
	吸入	: この製品に関する試験データはなし。
	経皮	: この製品に関する試験データはなし。
皮膚腐食性／刺激性		: この製品に関する試験データはなし。
眼に対する重篤な損傷／刺激性		: この製品に関する試験データはなし。
呼吸器感作性		: この製品に関する試験データはなし。
皮膚感作性		: この製品に関する試験データはなし。
生殖細胞変異原性		: この製品に関する試験データはなし。
発がん性		: この製品に関する試験データはなし。
生殖毒性		: この製品に関する試験データはなし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		: この製品に関する試験データはなし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		: この製品に関する試験データはなし。
吸引性呼吸器有害性		: この製品に関する試験データはなし。

硫酸ナトリウムとして

急性毒性	経口	: 区分外 ラットの LD50: > 10,000 mg/kg (SIDS (2006))
	経皮	: データ不足のため分類できない。
	吸入	ガス : 区分外 GHS の定義における固体である。
		蒸気 : データ不足のため分類できない。
		粉塵・ミスト : データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性		: 区分外 OECD TG 404 に準拠したウサギを用いた皮膚刺激性試験で非刺激性 (Not irritating) と判定されている (SIDS (2006)、REACH 登録情報 (Access on September 2019))。 本物質は皮膚刺激性を示さず、眼に対して軽度の刺激性を示す。 また、感

	作性はほとんどない (SIDS (2006))。
眼に対する重篤な損傷／刺激性	： 区分 2B OECD TG 405 に準拠したウサギを用いた眼刺激性試験で軽度刺激性と判定されており、全ての所見は 7 日後以内に回復した (SIDS (2006)、REACH 登録情報 (Access on September 2019))。 本物質は皮膚刺激性を示さず、眼に対して軽度の刺激性を示す。また、感作性はほとんどない (SIDS (2006))。
呼吸器感作性	： データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	： 区分外 モルモットを用いた皮膚感作性試験 (マキシマイゼーション法) の OECD TG 406 において、皮膚反応は認められず陰性と結論されている (REACH 登録情報 (Accessed on September, 2019))。 本物質は皮膚刺激性を示さず、眼に対して軽度の刺激性を示す。また、感作性はほとんどない (SIDS (2006))。
生殖細胞変異原性	： 区分外 in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験で陰性の報告がある (SIDS (2006)、食品安全委員会 添加物評価書 (2013) 硫酸カリウム)。食品安全委員会による評価では、硫酸のカリウム塩を被験物質とした試験においていずれも陰性の結果が得られていることから、総合的な判断として、添加物「硫酸カリウム (CAS 番号 7778-80-5)」は生体にとって特段問題となる遺伝毒性はないと結論付けられている。
発がん性	： データ不足のため分類できない。
生殖毒性	： データ不足のため分類できない。 雌マウスの妊娠 8～12 日に極めて大用量 (2,800 mg/kg/day) を強制経口投与した発生毒性試験において、母動物に異常はみられず、催奇形性等はみられていない。なお、児動物に生後 1 日での体重の高値がみられたが生後 3 日には差はみられていない (SIDS (2006))。 雌マウスの妊娠 8 日あるいは 9 日に 1 用量 (60 mg/kg) を単回皮下注射した発生毒性試験において、母動物に体重増加がみられ、胎児に骨化遅延がみられた (SIDS (2006))。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	： 区分 1 (消化管) ヒトにおいて医療目的で緩下剤として約 300 mg/kg、最大限 20 g の用量で経口投与により使用されたが、激しい下痢と腹部痙攣を生じるために、使用されなくなりつつある (SIDS (2006))。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	： 区分外 本物質の粉じん に 2 ヶ月～31 年間ばく露された男性作業員 119 名を対象とした横断研究において、全例の尿中から本物質が 2.2 g/L を超える濃度で検出され、30%の作業員で 3 g/day を超える無機硫酸塩排泄がみられた。作業員への粉じんばく露で唯一みられた症状は鼻の刺激と鼻水であった (SIDS (2006))。 雄ラットを用いた 4 週間混餌投与試験で、最高用量の約 2,000 mg/kg/day まで毒性影響はみられなかった (SIDS (2006))。
吸引性呼吸器有害性	： データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

※ この製品及び構成成分の自然環境への影響に関するデータは不十分なため、最大の注意を払う必要がある。

生態毒性 : この製品に関する試験データはなし。
残留性・分解性 : この製品に関する試験データはなし。
生体蓄積性 : この製品に関する試験データはなし。
土壌中の移動性 : この製品に関する試験データはなし。
オゾン層への有害性 : この製品に関する試験データはなし。

硫酸ナトリウムとして
生態毒性 : データはなし。
オゾン層への有害性 : 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 関連法規並びに地方自治体の条例に従うこと。または、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 該当なし
海洋汚染物質 : 該当しない
国際規制
陸上規制情報 : ADR/RID 規制されていない
海上規制情報 : IMO 規制されていない
航空規制情報 : ICAO/IATA 規制されていない
国内規制
陸上規制情報 : 規制なし
海上規制情報 : 非危険物
航空規制情報 : 非危険物
特別な安全対策 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
緊急時応急措置指針番号* : 該当しない
* 北米緊急時応急措置指針に基づく。米国運輸省が中心となって発行した「2016 Emergency Response Guidebook (ERG 2016)」(一般社団法人日本化学工業協会によって和訳されている(発行元: 日本規格協会)に掲載されている。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 該当しない
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)

- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 海洋汚染防止法 : 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1【157 硫酸ナトリウム溶液】)
- 水道法 : 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)【36 ナトリウム及びその化合物】

16. その他の情報

- SDSの作成と改訂 : 作成) 2021年8月16日 SDS-010-R1.0
改訂)

引用文献および参照ホームページなど

- : NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
International Chemical Safety Cards (ICSC)
Hazardous Substances Data Bank (HSDB)
GESTIS Substance database (GESTIS)
ERG 2016 版 緊急時応急措置指針—容器イエローカードへの適用
中央労働災害防止協会 GHS モデル SDS 情報
GHS 改訂 8 版
事業者向け GHS 分類ガイダンス(令和元年度改訂版 Ver.2.0)

- 免責事項 : 記載内容は現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので、化学物質の安全性の指標としてのみお使いください。また、この記載内容は情報提供を目的としており、当該化学物質の取り扱い上のいかなる保証をなすものではありません。